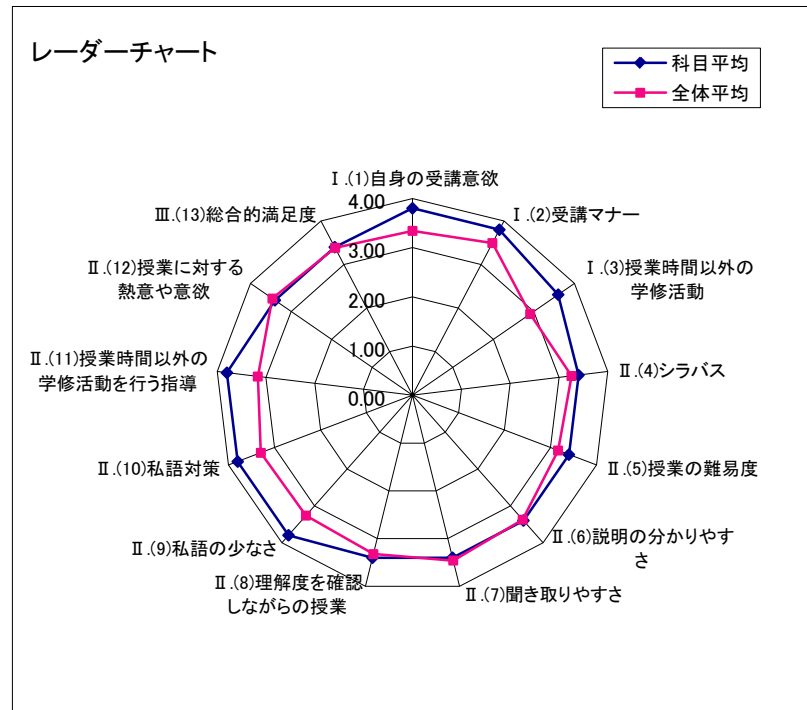
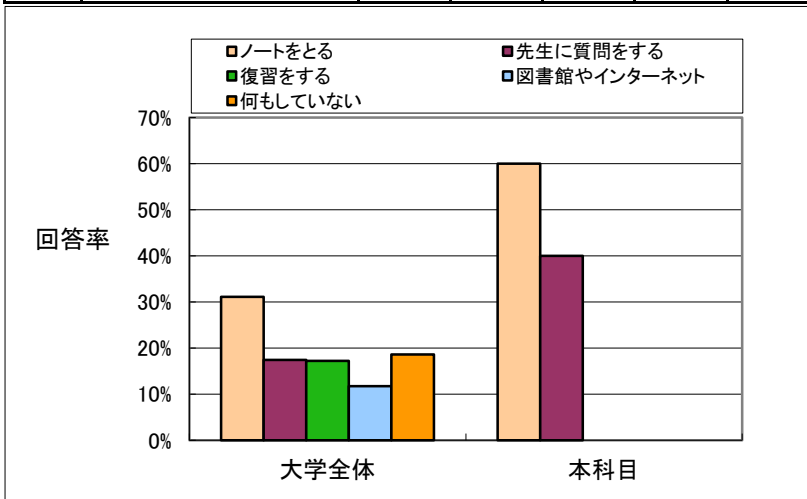


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0



	設問No.	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.80	3.34
	I.(2)	3.80	3.49
	I.(3)	3.60	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.40	3.26
	II.(5)	3.40	3.16
	II.(6)	3.40	3.38
	II.(7)	3.40	3.46
	II.(8)	3.40	3.32
	II.(9)	3.80	3.27
	II.(10)	3.80	3.30
	II.(11)	3.80	3.17
	II.(12)	3.40	3.46
	総合評価	III.(13)	3.40

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.73	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.53	3.31
総合評価 III.(13)	3.40	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4206
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について  
 授業計画自体は、基礎的な日本語、とくにレポート作成能力の基礎に重点を置いた。言葉は反復練習なので、飽きさせず、しかし出席していれば必ず力がついていくという方向性で行った。結果的に学生にとって実学としても力がついたのではないと思われる。

②授業の進め方について  
 講義後半では、600字(起承転結)のレポート作成を個別対応で行った。修正していく中で、なぜそれが間違いなのかを理解させた。結果として、出席した学生は本講義が求める水準にすべからく達し、出席不良の学生はそのまま単位を落としている。付け焼き刃ではない実学と評価の公平性を図ったのではないかと考える。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 大学における日本語教育の在り方は様々な考えかたがある。今後の課題として、本学の日本語コミュニケーションの統一した教授法の確立が必要だと思われる。